

北陸麦大豆サロン

北陸麦豆ホップステップ、その先へ…!

開催日時

麦 1月29日 (水)
14:00~16:30

大豆

※事前申込制

2月4日 (火)
14:00~16:30

参加
無料

開催方法 オンライン (Microsoft Teams)

どなたでも気軽にご参加いただけます



麦プログラム (1/29)



はじめに

・全国及び北陸地域の麦をめぐる状況について (農林水産省)

生産者からの話題提供

農事組合法人第四生産組合 理事 竹野 勝行 氏 (新潟県弥彦村)

新潟小麦の会の活動に参加し、積極的な情報収集により実需者の求める需要量・品質等を確保。団地化の推進や営農技術・機械導入による生産性の向上を実現。



有限会社あさひ 高川 吉浩 氏 (石川県白山市)

水稻・大麦・大豆の2年3作体系を導入し、土地利用率の向上を目指した営農体系を構築。加えて効果的な排水対策、診断に基づく適期・適正量追肥等の実施により、六条大麦の単収550kgを実現。



実需者からの話題提供

株式会社セブン-イレブン・ジャパン シニアマーチャンダイザー 山村 賢史 氏

地域の優良な原材料を使用した「地産地消」に取り組んでいる。地域と共に食材を育て地域の活性化を推進。



株式会社新潟小規模蒸溜所 取締役社長 堂田 浩之 氏

県産六条大麦を使用したウイスキーを醸造し、輸出拡大にも取り組む。国産大麦の新たな需要を創出。研究機関と共同しウイスキー醸造用の二条大麦の開発にも貢献。



試験研究機関からの話題提供

・麦生産向上のための栽培技術及び品種の情報について

質疑応答・意見交換

- ・農研機構中日本農業研究センターグループ長 長嶺 敬 氏
上級研究員 島崎 由美 氏
- ・農研機構東北農業研究センター
上級研究員 池永 幸子 氏

大豆プログラム(2/4)

はじめに

・全国及び北陸地域の大豆をめぐる状況について（農林水産省）

生産者からの話題提供

有限会社北井農産 代表取締役 **北井 博士 氏**（石川県白山市）

従来の高畝栽培に加え狭畦栽培を導入し、省力化と収量安定化を図ることで大規模経営を実現。柏野地区農業を考える会の取りまとめ役を担い、地域のトップランナーとして地域農業をけん引。

第52回（令和5年度）全国豆類経営改善共励会 全国農業協同組合中央会会長賞受賞。



農事組合法人ファーム小栗山 代表理事 **三沢 孝喜 氏**（新潟県見附市）

サブソイラーによる弾丸暗渠の施工や、アップカットロータリーによる耕耘同時畝立て播種の実施により十分な排水性を確保。その他、完全自動飛行ドローンなど積極的に新技術の導入を行う。

第49回（令和2年度）全国豆類経営改善共励会 日本農業新聞会長賞受賞。

実需者からの話題提供

登喜和冷凍食品株式会社 社長 **登内 英雄 氏**

昭和26年より高野豆腐を製造。輸入大豆の高騰による原料調達不安から2024年より北陸産大豆（里のほほえみ）を使用開始するとともに供給量の増加を希望。



たけしま食品 社長 **竹島 茂 氏**

地元大豆を使用した豆腐や油揚げを職人の手で作り続けることにこだわりを持ち、地元産大豆の品質の良さを消費者に理解していただくことを念頭に入れた商品づくりと開発を実行。

試験研究機関からの話題提供

・大豆生産性向上のための栽培技術及び品種の情報について

農研機構中日本農業研究センター グループ長 **大野 智史 氏**

質疑応答・意見交換

申込方法

下記のURL又は右のコードから申込フォームにアクセスして、必要事項を記入の上、お申し込みください。

https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokuriku/form/seisan/mugimame_form.html



※お申込みによって得られた個人情報は、厳重に管理し、本イベントの運営に限り使用させていただきます。

申込締切 令和7年1月23日（木）17:00

お問合せ先

北陸農政局 生産部 生産振興課 担当者：土井、石原 ☎ 076 - 232 - 4302（直通）